

## 1 さあ、家庭学習を毎日がんばろう！

- ① 5年生は50分以上、6年生は60分以上。毎日続けてがんばろう。
  - ② 静かな場所で、姿勢をよくして集中して勉強しよう。
  - ③ 音読（暗唱）は毎日しよう。（学習の前にしっかり声を出すことで、脳が活発に働きます。）
  - ④ 日付や問題番号を書き、後で見直せるようにしよう。
  - ⑤ 問題を解いたら答え合わせをして、間違いは直そう。
- ※ 内容がかたよらないように、計画を立てよう。
- ※ 国語辞典を手元において、分からない言葉は調べながら勉強しよう。



## 2 教科の学習

### 国語の学習

#### 1 音読（声を出して読みましょう。）

- (1) 今、学習しているところを声を出して読む。（一文を一息で、内容を考えながら読む）



#### 2 漢字・言葉の学習

- (1) 新しく学習する漢字や読めない字、意味が分からない言葉は、辞典を使って調べる。
- (2) ドリルや教科書を使って、漢字を正しい筆順で書く。（指書き→なぞり書き→写し書き）
- (3) 意味が分からない漢字や言葉は、辞典で調べる。
- (4) 漢字を使って、熟語や短文を作る。
- (5) 今の学年の漢字だけでなく、前の学年で習った漢字の復習も計画的にする。



#### 3 視写勉強

- (1) 教科書の文や詩など、好きな場面をていねいに視写する。（速く・正確に）
- (2) 視写した文に感想を書き込む。

#### 4 その他

- (1) 心に残った出来事に題名をつけて、日記を書く。（習った漢字は必ず使うこと）
- (2) ニュースや身の回りの事がらから、それに対する自分の意見を書く。  
(新聞記事を使うのもよい)
- (3) 原こう用紙の正しい使い方や長い文を書く習慣を身につける。
- (4) 読書（1日15分以上）
  - ・自分が興味・関心をもった本を読む。（いつでも読めるように、本を借りておきましょう）
  - ・いろいろな種類の本を読みましよう。
  - ・同じ作家の本を読み広げてみる。
 例：宮沢賢治の本（やまなし、注文の多い料理店、銀河鉄道の夜など）  
立松和平の本（海のいのち、山のいのち、川のいのちなど）
- (5) 新聞やニュースを利用する。（社説やいろいろな特集ページに関心をもって読む）



## 算数の学習

### 1 計算練習・文章題

- (1) 教科書の解き方を参考にして解く。
- (2) 計算ドリルの問題に、めあて時間を決めて、取り組む。

### 2 復習

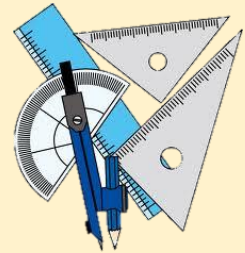
- (1) その日に学習したことを、ノートに整理して書く。
- (2) 授業でよくわからなかった問題をもう一度、解く。

### 3 問題作り

- (1) 教科書やドリルの問題を参考にして、自分で問題を作る。
- (2) 解き方なども考える。

### 4 道具を使って

- (1) 分度器やコンパス、定規などの道具を正しく使えるように練習する。
  - 平行線や垂直線、いろいろな図形をかく。
  - 図形の角度を測る。



## その他の学習

### 1 覚える

5年生

- (1) 都道府県庁所在地の名前と位置を覚える。
- (2) 都道府県の名産や特産品を覚える。
- (3) 日本の主な山脈や平野、川などを覚える。



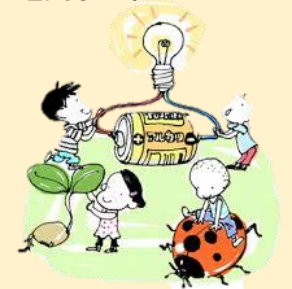
6年生

- (1) 歴史上重要な土地（地名）や文化遺産の名前と位置を覚える。（歴史でも地図帳を活用する。）
- (2) 歴史上の主な人物の名前とその功績を覚える。



### 2 調べる（興味や関心をもったことについて調べる。）

- (1) 教科書や地図帳、資料集、図鑑、関係する本などで調べる。
- (2) 家族や地域の人にインタビューする。
- (3) 博物館や資料館、工場などの施設に問い合わせる。（電話・手紙など）
- (4) わからない内容や興味をもったことは、図鑑や事典、インターネットなどを使って調べる。



### 3 まとめる

- (1) 分かったことを自分なりの方法で分かりやすくまとめる。
  - 例：新聞、絵本、図表、パンフレット、すごろく、巻き物、スクラップノートなど

## 3 家庭学習の後に・・・

- しっかり学習できたか振り返ってみましょう。（時間は？内容は？姿勢は？ノートの使い方は？）
- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書は？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？消しゴムはきれいですか？